

長久手市行政評価票 (A票: 事業評価票)

事業番号	20	事業名	清掃事業	担当部課	くらし文化部環境課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物	決算書 ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—		会計 区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款 - 項 - 目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	一般廃棄物処理基本計画、資源回収推進に関する奨励金交付要綱、生ごみ堆肥化促進に関する補助金交付要綱、生ごみ発酵用密閉バケツ補助金交付要綱、生ごみ処理機購入費補助金交付要綱	4-2-1 清掃費	
	事業開始の背景、経緯等	昭和42年もえるごみ収集開始、昭和60年資源の分別収集試行開始			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	民間事業者とのみ協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 塵芥、資源の収集・運搬・処理の実施に関する業務を行う。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 生活環境の保全及び公衆衛生を向上させたい。

項目	単位	区分	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	
			事業費(A)	千円	予算	142,714	140,261	152,805
			決算	137,979	137,595	150,389	154,483	
人件費(B)	千円	決算	11,371	11,273	9,357	8,916		
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	149,350	148,868	159,746	163,399		
事業対象の数(D) (R3年度は想定数)	人		56,627	57,466	58,545	59,499	60,035	
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		3	3	3	3		

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)
			家庭系1人1日あたりのごみ排出量	g	目標	500	472
		実績	477	480	505	530	
(指標の設定根拠)			(数値目標の根拠)				
5Rを推進することでごみの減量につなげるため、市民1人あたりのごみ排出量とした。 (前年から指標を変更した場合はその理由)			一般廃棄物処理基本計画に掲げる目標値から算出して設定。H29までは計画見直し前の目標値、H30以降は見直し後の目標値。				
(前年までの指標)							

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) H30年度以降目標を達成できていない。H30年度に一般廃棄物処理基本計画を見直し、目標値を厳しくしたことや、R1・2年度は新型コロナウイルス感染症が影響したなど、毎年少しずつ実績が増加している。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和2年度は、令和元年度に各小学校区でごみの減量に関する説明会を実施したこと引き続き、既存の市民の集まりに参加して多くの説明をしていく予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響でそれが全くなかった。対面ではない説明の方法を検討すべきだったことが反省点である。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) H30実施のもえるごみ組成調査で、もえるごみ袋の中にももえるごみ以外のものが全体の34.3%を占めており、市民のごみの分別意識の変革が必要。令和3年度は組成調査を3年ぶりに実施し、最新の状況を把握し、今後の施策の検討材料とする。また、市民に対しても広報や説明会等で啓発を促していく。

事業を構成する 事務事業①	循環型社会推進事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
	(1) ごみの組成調査におけるもえるごみ袋に含まれる資源混入率	%	見込	34.3	25.0	20.0	10.0	5.0
			実績	34.3				
(2) 1人1日あたりのごみ排出量(家庭系及び事業系)【単年】	g	見込	668	657	645	633	621	
		実績	724					
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R2年度(2020))> ・各種市指定ごみ袋作成 ・各種ごみ・資源収集運搬、処理委託等							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する 事務事業②	自動車購入事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
	(1) 清掃車両の台数	台	見込	8	8	8	7	7
			実績	8				
(2) 完全委託するごみ資源種別の数	種類	見込	2	2	2	6	6	
		実績	2					
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R2年度(2020))> ・車両整備計画に基づき、清掃車が1台老朽化のため、2t ダンプ車を買替えた。							今後の方向性	縮小

事業を構成する 事務事業③	[削除された表]							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込						
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R2年度(2020))>							今後の方向性	

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 現在市の事業として実施している愛・Nクリーンやリサイクルマーケットを地域主体の事業に移し、地域のごみ減量に対する意識を高めていく。今後直営清掃員が定年により徐々に退職し5年後には現在の7人から2人になってしまうことから、直営で収集しているものを委託に切り替え、清掃車両も、収集の実情や老朽具合を鑑み廃車するなど縮小傾向とする。
中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 10年程度先には、まちづくり協議会や連合会・区会とも連携し、地域による清掃活動やリサイクルマーケットを行い、環境美化とともにごみの減量化・資源化を推進したい。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見 ・ごみの減量化や資源化を進めるため、もえるごみのごみ袋の料金体系を見直し、排出する市民に適正な負担を求めてください。 ・第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、事業実施にあたっては長久手市みんなでつくるまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。 ・行政改革の重要課題事業に基づき、ごみの減量化に寄与できるよう取り組んでください。
内部意見への回答	